2019ピースアクション inナガサキに26名参加

8月8日長崎市　佐賀県生協連主催

平和のはなつうしん

15号2019年8月14日
コープさが生協
課題推進委員会平和のはな
TEL　0952-31-3977

平和のまち歩き

原爆落下中心地～浦上天主堂～原爆資料館

地元ガイドさんによる平和の遺構の説明を聴きました。

17,000羽の組合員さんから寄せられた折り鶴を寄贈しました。

被爆の証言

長崎市民会館

4才の時被爆した小峰秀孝さんは、足にひどいやけどを負い、うまく歩けなくなり、ひどいイジメにあいました。大人になっても被爆者というだけで差別を受け自殺未遂も経験。母の愛で勇気づけられ生き抜いた半生は涙無くして聞くことができませんでした。

子ども平和会議

長崎市民会館

長崎の子ども平和会議は今年で3年目です。全国から44名参加の子ども達だけで、戦争や核兵器をなくすためにはどうすればよいかをテーマに話しあいました。佐賀県からは4名の小中学生が参加しました。最後にアピール文をまとめ、午後の虹のひろばで発表しました。

ナガサキ虹のひろば

長崎市民会館

田上長崎市長のあいさつにサプライズで松井広島市長も加わり、日本の核兵器禁止条約への加盟をしっかりと呼びかけられました。「厳しい国際情勢を変えるためにも、市民の力を結集して核兵器廃絶の機運を高めましょう」と訴えられました。

長崎大学核兵器廃絶研究センターの中村桂子准教授の講演。

子ども平和会議アピール文を発表する子どもたち。

長崎商業高校の美術部と放送部による被爆継承紙芝居の朗読。

アメリカの原爆製造の町・リッチモンド高校との平和交流を報告する長崎大学院の光岡華子さん。